

岐阜高専「海外インターンシップ壮行会」を開催

岐阜高専は、世界で活躍できる技術者を育成するため、海外の大学等との交流協定の締結を進め、学生が海外で学び・国際経験を積める環境の整備に力を入れている。本年度は、JASSO(日本学生支援機構)の双方向短期研修・研究型プログラムの支援を受けて、海外大学の学生 18 名を受け入れるとともに、本校学生を海外大学等に派遣している。

今年度は 14 名の専攻科 1 年生を海外インターンシップへ派遣することを決定し、7 月 29 日(金)、派遣予定の学生を対象にガイダンス及び壮行会を行った。学生たちは、英国ダーラム・TYK Ltd.2 名、バンドン工科大学 3 名、マレーシア工科大学 3 名、米国アイオワ大学 2 名、ドイツ・ハノーバー大学 2 名、ウズベキスタン・トリノ工科大学タシケント校 2 名に分かれ、3 週間、先方の大学教員の研究室等に配属され研究指導を受ける。先方では、卒業研究・特別研究についてショートセミナーを行うことも義務付けられており、専門分野の研究テーマ等について世界の現状を知るとともに、英語によるプレゼンテーション能力・コミュニケーション能力を磨くことになる。

壮行会は、伊藤義人校長、山本高久国際交流室長らの出席の下に行われ、学生諸君は激励の言葉に決意を新たにした。



壮行会後の記念撮影（14名の派遣学生と伊藤校長（中央）、山本国際交流室長）